

授業科目

加齢と身体

担当教員名 小林 量作、佐藤 成登志、古西 勇、松本 香好美、椿 淳裕	対象学年	1	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

授業の概要

人間の身体機能は加齢に伴い様々に変化する。骨、関節、筋肉、神経などの運動器、肺などの呼吸器、心臓、血管などの循環器は、日常生活の活動性を維持するために重要な身体器官である。このような身体器官がどのような経過をたどって変化するか、そのことが健康増進、リハビリテーション、要介護になる原因にどのように影響するかを学習する。

授業の目的

高齢者の日常生活の活動性維持を支援する心構えを持てるようになるために、加齢に伴う身体の変化について理解し、運動器や呼吸器、循環器など専門的な視点から、加齢に伴う身体器官の変化を説明できるようになる。

学習目標

1. 超高齢社会とその課題についての知識を修得する。
2. 加齢と全身機能の変化についての知識を修得する。
3. 加齢と運動器の変化について知識を修得する。
4. 加齢と呼吸器の変化について知識を修得する。
5. 加齢と循環器の変化について知識を修得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	超高齢社会が担う課題—特に健康問題、介護問題—	講義	小林 量作
2	加齢に伴う心身機能の変化と健康増進・リハビリテーション	講義	小林 量作
3	加齢に伴う運動器の変化と健康増進・リハビリテーション（運動器慢性疼痛、肩痛）	講義	佐藤 成登志
4	加齢に伴う運動器の変化と健康増進・リハビリテーション（主に腰痛）	講義	佐藤 成登志
5	加齢に伴う運動器の変化と健康増進・リハビリテーション（主に下肢痛）	講義	古西 勇
6	加齢に伴う呼吸器の変化と健康増進・リハビリテーション	講義	松本 香好美
7	加齢に伴う循環器の変化と健康増進・リハビリテーション	講義	椿 淳裕
8	まとめ		小林 量作 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	学習課題に応じて資料を配付する					

評価方法

試験での評価をする。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

小林：研究室 E203、メールアドレス ryo-koba@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月・火・木の17:00～18:00

佐藤：研究室 E102、メールアドレス n-sato@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月～金の17:00～18:00

古西：研究室 E201b、メールアドレス konishi@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月～金の8:30～18:30（授業や会議で不在の場合があるので、事前に連絡を）

松本：研究室 E111、メールアドレス kayomi-matsumoto@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月・火・木の17:00～18:00

椿：研究室 E202、メールアドレス tsubaki@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月・火・木の12:00～13:30